

事業名	地域に根ざした人材活用事業
-----	---------------

総事業費	36 千円
------	-------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

## ② 実施 (Do)

事業の意図	(1) 児童生徒の豊かな人間性の育成に資する (2) 教職員の指導力向上に資する	
事業の実績と成果	取組内容	市内外の講師（教育委員会含む。）を各学校へ招き、研修・講話等を行っていただくことで、児童生徒又は職員の能力向上を図った。
	成果	昨年度よりも講演数が7回増となり、各小中学校での児童生徒の授業内容がより良いものとなった。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	実績値は前年に比べ伸びているが、目標値へはまだまだである。活用について周知や内容の見直しが必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	各校の特色ある教育活動を推進するために、地域の優れた人材を招聘し内容の充実を図ることができた。また、地域の人たちと児童生徒、教職員が交流する中で、郷土に寄せる愛着を醸成することができている

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	2025年度においても市内外の講師を招聘し、児童生徒の学習意欲と教職員の指導力の向上を図る。
------------	--

事業名	外国青年招致事業
-----	----------

総事業費	4,692 千円
------	----------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

## ② 実施 (Do)

事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動、外国語科の学習に対する意欲向上を図る。</li> <li>・異文化理解や国際交流への関心を高める。</li> </ul>	
事業の実績と成果	取組内容	市内11校の小・中学校を計画を立て指導を行っている。事前に各学校から指導内容の確認とALTの関わりについて計画書を提出し、指導に当たっているため、充実した指導を行うことができています。
	成果	全国学力学習状況調査においても全国平均並みの結果を出すことができています。今年度から、リスニングやリーディングも取り入れられたこともあり、生の英語に触れることは子どもたちにとって必要不可欠であり、今後もALT派遣を継続していくことでより力を付けることができいくものと考えています。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ALTが一人体制なので、時間割の組み方を工夫したり、より詳細な計画で打合せをするなど、効率的なALT利用を行っていく必要がある。
評価結果の根拠及び今後の課題 (担当課長記入)	○ 日本の文化や言葉を学ぼうと好奇心があり、ICT等を活用しながら自己研鑽に努めている。学んだことを日々の学習に生かそうと、教材の準備もしながら、子供たちが外国語に関心をもてるように学びを深めている。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	本市ALTは1名であるため、各学校への訪問回数が限られていることから、県費教職員のset (Super English Teacher) 加配と連携を図りながら事業を進めていく。
------------	---

事業名	小中学校人材育成事業
-----	------------

総事業費	2,481 千円
------	----------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

## ② 実施 (Do)

事業の意図	児童生徒及び保護者等を対象に、学びに対する意欲を高めることを契機に、自己実現に向けた態度を育成する。	
事業の実績 と成果	取組内容	保護者等と中学生対象を対象に講演会を実施した。令和6年度より、児童生徒対象の講演会は小学校高学年向けと中学生向けを隔年実施とした。
	成果	令和6年度の児童生徒対象の講演会は、中学生向けを実施し、生徒の関心を高める仕掛けのある講演で講評であった。保護者等向けは、他課行事との日程の近さなどもあり、参加者が少なかったため、今後の日程調整を工夫していく。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	2名の講師を招聘しての講演会を開催した。中学生対象と保護者等対象に実施した。 中学生対象では、夢を考え自ら行動する力、好奇心や行動力などをテーマに、自分でどう実践しているのか、将来の夢を叶えるために実践すべきことについての講話をいただいた。また、保護者対象では、子供たちのよりよい成長に向けて、保護者として、その周囲で支える大人として、どのように子供たちと関わっていけばよいかについて講話をいただいた。いずれも、聴衆者にとっては新鮮な内容で食い入るように聞いていた。これからの生き方、学習の進め方を考えるに十分に参考になるものであった。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	児童生徒向け講演会は、中学生向けと小学校5・6年生向けを隔年で実施しており、2025年度は小学校5・6年生向けを計画する。本市の児童の実態やニーズを基に、児童が夢をもち、自己実現が図れるような講師選定に努める。
------------	---